

Ⅲ 平成25年度研究発表業績

1 論文・報告書等

森林の多面的機能の発揮のための研究開発

地球環境及び国土を保全する森林管理技術の研究と開発

- 1 林業試験場 空知炭礦株式会社 2013年4月 石炭露天掘り跡地樹木による樹林化技術(要約) 共研報告書普及版 33pp (Kw 石炭, 露天掘り, 緑化, 樹林, 荒廃地)
- 2 佐藤創, 石丸聡, 川上源太郎, 菅野正人, 長坂晶子, 阿部友幸, 対馬俊之, 田近淳 2013年7月 2003年台風10号による北海道日高地方厚別川流域における斜面崩壊要因 砂防学会誌 66:40~47 (Kw 表層崩壊, ロジスティック回帰分析, GIS, DEM)
- 3 Nakata, M., T. Myoda, Y. Wakita, T. Sato, I. Tanahashi, K. Toeda, T. Fujimori, M. Nishizawa 2013年9月 Volatile components of essential oil from field grown plants via shoot tip culture of *Myrica gale* L. var. *tomentosa* C. and their anti-oxidation and microbial activity J. Oleo Sci. 62:755-762 (Kw ヤチヤナギ, 組織培養, 精油, アロマ, 抗酸化性・抗菌性)
- 4 菅野正人 2013年9月 ALOS衛星画像による下川町民有林の風倒被害解析と被害把握への活用 日本リモートセンシング学会誌 33(4):319~323 (Kw 風倒被害, 衛星画像, 民有林, ALOS, 実利用)
- 5 Takeda K., Torita H., Nobori Y., Lopez C.M.L., Itoh J. 2013年11月 Regeneration in burned larch forests of hovsgol region, northern Mongolia Multidisciplinary Research on Mongolian Ecosystems Conference proceedings from second international symposium by Japan and Mongolia, 2013 27~34 (Kw forest fire, regeneration)
- 6 佐藤創, 大谷健一, 神原孝義, 鳥田宏行 2013年11月 原位置一面せん断試験による樹木根系の崩壊抵抗力と引き抜き抵抗力の比較 砂防学会誌 66:15~20 (Kw 根, 表層崩壊, せん断抵抗力)
- 7 北海道 2014年3月 平成25年度酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査 *平成25年度環境省委託業務報告書 116pp (Kw 酸性雨, 土壌, 植生, 支笏洞爺, 知床)

道民の生活環境を守る森林管理技術の研究と開発

- 8 浦田各, 渋谷正人, 鳥田宏行 2013年4月 風倒被害を軽減するトドマツ・カラマツ人工林の管理指針 北海道大学演習林研究報告 69(1):1-10 (Kw 管理指針, 形状比, 風倒)
- 9 林業試験場 2013年7月 海浜植物の増殖・導入のための技術資料Ver.1 52pp (Kw 海岸, 海浜植物, 緑化, 増殖, 導入, 復元)
- 10 真坂一彦 2014年2月 砂坂クロマツ海岸林に対する強度間伐の効果 光珠内季報 170:19~23 (Kw クロマツ海岸林, 強度間伐)
- 11 清水一 2014年2月 貯蔵中に根の出たドングリは苗木に育ちますか? 光珠内季報 170:1~8 (Kw ミズナラ, カシワ, ドングリ, 播種方法)
- 12 真坂一彦 2014年3月 2013年春季, 胆振・日高地方でみられたクロマツの赤枯れ現象 グリーントピックス 48:1 (Kw クロマツ海岸林, 赤枯れ)

森林の生物多様性保全と健全性維持のための研究開発

生物多様性を確保する森林管理技術の研究と開発

- 13 寺田文子, 長坂晶子(道総研林業試験場) 釣賀一二三, 近藤麻実(道総研環境科学研究センター) 深澤圭太(国立環境研究所) 2013年4月 過去の調査結果を用いた環境属性が被毛捕捉率に及ぼす影響の検討 平成23~25年度 重点研究報告書 環境利用情報を活用した遺伝子マーカーによる個体識別を用いたヒグマ生息密度推定法の開発 66:5~19 (Kw ヒグマ, 個体群密度の推定, ゼロ強調モデル)
- 14 Hara, H. and Shinohara, A. 2013年5月 *Arge takanebara* n. sp. (Hymenoptera, Argidae) feeding on *Rosa acicularis* in Hokkaido, Japan Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Series A 39:107~117 (Kw タカネバラチュウレンジ, 新種, 蛇紋岩地, オオタカネバラ)
- 15 Shinohara, A. and Hara, H. 2013年5月 New distribution and host plant records for *Spinarge prunivora* and *S. affinis* (Hymenoptera, Argidae) from Japan Japanese Journal of Systematic Entomology 19:101~106 (Kw サクラトゲチュウレンジ, ホソトゲチュウレンジ, 分布, 寄主植物)
- 16 明石信廣 2013年7月 森林管理者の協力による効率的なエゾシカ捕獲 山づくり 466:2~3 (Kw モバイルカリング, エゾシカ, 林道除雪, 捕獲体制)

- 17 雲野明 2013年9月 木材生産と生物多様性や水土保持機能の両立を目指す!～トドマツ人工林で保残伐実証実験を始めます～ グリーントップックス 47:3 (Kw 保残伐実験, トドマツ人工林)
- 18 明石信廣、藤田真人、渡辺修、宇野裕之、萩原裕 2013年10月 簡易なチェックシートによるエゾシカの天然林への影響評価 日林誌 95:259～266 (Kw チェックシート, エゾシカ, 天然林, 食痕, 多重対応分析)
- 19 明石信廣 2014年2月 北海道南日高猟区における1950年代のエゾシカ捕獲 北方林業 66:44～46 (Kw エゾシカ, 南日高猟区)
- 20 保護グループ 2014年2月 森林における立枯れ木の管理 14pp (Kw 立枯れ木, 生息地管理, 生物多様性)
- 21 中川昌彦 2014年3月 パッチワーク状混植の経費を考える 光珠内季報 171:1～5 (Kw 造林経費, 混植, パッチワーク, 広葉樹, 近自然型森林)
- 22 長坂晶子 2014年3月 ヒグマの出没情報から農地の食害リスクを推定する グリーントップックス 48:2～3 (Kw ヒグマ, 農地, 食害, ハザードマップ)
- 23 長坂晶子 2014年3月 ヒグマによる農業被害の軽減をめざしてー被害農地の立地解析によりハザードマップを作成するー 光珠内季報 171:10～14 (Kw ヒグマ, 農地, 食害, ハザードマップ)
- 24 北海道立総合研究機構、酪農学園大学 2014年3月 重点研究 森林管理と連携したエゾシカの個体数管理手法に関する研究 平成25年度(2013年度)研究報告書 72pp (Kw エゾシカ, 食痕, 評価方法)
- 25 北海道立総合研究機構、酪農学園大学、占冠村 2014年3月 森林施業と組み合わせたエゾシカの効率的捕獲方法の確立 平成25年度森林環境保全総合対策事業ー森林被害対策事業ー野生鳥獣による森林生態系への被害対策技術開発事業報告書 株式会社野生動物保護管理事務所東京 28～35 (Kw モバイルカリング, エゾシカ, 林道除雪, 捕獲体制, 占冠村)
- 26 中田圭亮 2014年3月 野ネズミー森に生きる暮らしと多様さ 道民の森ボランティア協会会報 41:1～23 (Kw エゾヤチネズミ, アカネズミ, ヒメネズミ, 生態系機能, 生態系エンジニア)

森林・樹木の健全性を維持するための研究と技術開発

- 27 Hara, H. and Shinohara, A. 2013年7月 A slug sawfly, *Caliroa matsumotonis* (Hymenoptera: Tenthredinidae), injurious to peach and pear trees in Japan and Korea Applied Entomology and Zoology 48:379～386 (Kw モモナメクジハバチ, 再記載, レクトタイプ指定, 生態)
- 28 南野一博、阿部友幸、佐藤創、明石信廣 2013年9月 ブナ人工林における忌避剤の連年散布によるウサギ害の防除効果 森林防疫 698:13～19 (Kw ブナ, ウサギ害, 忌避剤, 連年散布)
- 29 明石信廣 2013年9月 エゾシカが好きな木, 嫌いな木ーエゾシカによる餌植物の選択性 森林技術 858:20～23 (Kw エゾシカ, 樹皮食害, 枝葉食害, 嗜好性)
- 30 中田圭亮 2013年9月 リン化亜鉛殺そ剤の鳥類と哺乳類に対する経口毒性 森林保護 331:17～22 (Kw エゾヤチネズミ, 殺そ剤, リン化亜鉛, 急性毒性, 非標的種)
- 31 大槻亨、佐藤滝也、中田圭亮 2013年12月 エゾシカによるカラマツ高齢林分の樹皮食害 森林保護 332:25～26 (Kw エゾシカ, カラマツ, 高齢級林分, 獣害)
- 32 原秀穂 2014年1月 森林害虫を知ろう①マイマイガとカシワマイマイ 農家の友 66(1):62～63 (Kw マイマイガ, カシワマイマイ, 生態, 被害, 対策)
- 33 南野一博 2014年2月 エゾシカが増加するとスギやヒバに被害は発生するか? 光珠内季報 170:14～18 (Kw エゾシカ, スギ, ヒバ, 道南地域)
- 34 林業試験場 2014年2月 リン化亜鉛の限界薬量薬害試験受託研究報告書 29pp (Kw 殺そ剤, リン化亜鉛 1%粒剤, カラマツ, トドマツ, 薬害症状)
- 35 小野寺賢介 2014年2月 森林害虫を知ろう②カラマツヤツバキクイムシ 農家の友 774:58～59 (Kw キクイムシ, 加害様式, 予防)
- 36 南野一博、寺田文子、八坂通泰 2014年3月 福島町で確認されたヒバ高齢人工林の衰退・枯損 森林保護 333:1～3 (Kw ヒバ, 漏脂病, 枯損, 高齢林)
- 37 原秀穂、寺澤和彦、徳田佐和子、小野寺賢介、滝谷美香 2014年3月 ナラフサカイガラムシによるミズナラの被害 北林試研報 51:1～6 (Kw ナラフサカイガラムシ, ミズナラ, 枯死, 枝枯)
- 38 古屋諒、齊藤雄太、中村寛志、江田慧子、原秀穂 2014年3月 中部山岳域におけるハイマツを食害するタカネシママツハバチ *Gilpinia albiclabata* の分布変遷 信州大学農学部AFC報告 12:53～73 (Kw タカネシママツハバチ, ハイマツ, 日本アルプス, 被害推移)
- 39 原秀穂 2014年3月 森林害虫を知ろう(終回) 樹木を食べる蜂～カラマツハラアカハバチ 農家の友

66(3):58~59 (Kw カラマツハラアカハバチ, 生態, 被害)

- 40 佐山勝彦、尾崎研一、原秀穂、小野寺賢介 2013年12月 2011年に北海道で発生した森林昆虫
北方林業 65:117~121 (Kw 森林昆虫, 被害報告)

身近なみどり環境の充実のための研究開発

北海道の風土に適した緑化樹等の新品種や生産技術の研究と開発

- 41 脇田陽一 2013年4月 最も寒いところに自生する桜！チシマザクラの新品種「国後陽紅」
JATAFF Journal1:39~40 (Kw 桜, チシマザクラ, 組織培養, 品種登録)
- 42 錦織正智 2013年9月 多目的樹木ヒッポファエの増殖技術の開発
グリーントップクス 47:4 (Kw ヒッポファエ, シーベリー, 挿し木, 組織培養)

林業の持続的な発展のための研究開発

森林資源の充実を図る育林技術の研究と開発

- 43 中川昌彦 2013年9月 カラマツの天然更新地はどうなった？ グリーントップクス 47:2 (Kw カラマツ, 天然更新, 成林, 広葉樹林化, 混交林化)
- 44 八坂通泰 2013年9月 低密度植栽による炭素固定能と採算性の向上 光珠内季報 169:8~12 (Kw カラマツ, 低密度植栽, 炭素固定能, 採算性, シミュレーション)
- 45 八坂通泰 2013年9月 施業方法によって20%以上違う二酸化炭素固定能 グリーントップクス 47:1 (Kw 温暖化緩和機能, 二酸化炭素固定能)
- 46 八坂通泰 2013年12月 カラマツ人工林の植栽密度と伐期の再考 北方林業 65:31~34 (Kw カラマツ, 低密度植栽, 炭素固定能, 採算性, シミュレーション)
- 47 八坂通泰 2014年2月 最も効果的なのは森の力を高めることです 「温暖化する地球・北海道の農林業は何ができるか!？」(戦略研究報告書「地球温暖化と生産構造の変化に対応できる北海道農林業の構築」の普及版pp18) 7~8 (Kw 品種改良, 低密度植栽, 林地残材, 炭素固定能, シミュレーション)
- 48 中川昌彦 2014年3月 過去に報告された道内のカラマツ天然更新地の現況 北林試研報 51:13~30 (Kw カラマツ, 天然更新, 成林, 広葉樹林化, 混交林化)
- 49 中川昌彦 2014年3月 カラマツの天然更新施業を成功させるためには？ 平成25年度北の国・森林づくり技術交流発表会発表集 144~148 (Kw カラマツ, 天然更新, 成林, 広葉樹林化, エゾヤチネズミ)
- 50 林業試験場 2014年3月 道南ヒバの育成—生育状況と保育管理— 8pp (Kw ヒバ, 生育状況, 成長阻害要因, 上木管理)
- 51 八坂通泰 2014年3月 炭素固定能の高い木材生産システムの確立 戦略研究報告書「地球温暖化と生産構造の変化に対応できる北海道農林業の構築」 p7~41 (Kw カラマツ, 低密度植栽, 炭素固定能, 採算性, シミュレーション)
- 52 八坂通泰 2014年3月 どちらがお得？間伐と無間伐 グリーントップクス 48:4 (Kw 植栽密度, 間伐, 無間伐)

森林施業の低コスト化と森林資源の高度利用を図る技術の研究と開発

- 53 酒井明香 2013年9月 林地残材を林内から集めるコストは？ 光珠内季報 169:13~16 (Kw 森林バイオマス)
- 54 滝谷美香、八坂通泰 2013年9月 人工林の立木密度は地域によって違いがあるのか？
光珠内季報 169:17~20 (Kw トドマツ, カラマツ, 人工林資源)
- 55 Masahiro Miura, Tomoaki Seo, Yasutaka Shimotori, Masakazu Aoyama, Hisayuki Nakatani and Masatomo Nishikoori 2013年12月 Microbial xylitol production from culm of Sasa kurilensis using the yeast Candida magnoliae
Holzforschung67(8): 881-885 (Kw Microbial xylitol, Sasa kurilensis, yeast Candida magnoliae)
- 56 蓮井聡 2014年2月 緩中傾斜地における森林作業道の維持管理費 北方森林研究 62:15~16 (Kw 森林作業道)
- 57 中川昌彦 2014年2月 地域や環境による下刈り年数の違い—トドマツ造林地の場合—
光珠内季報 170:9~13 (Kw トドマツ, 下刈り年数, 積雪深, 地位指数, 植生, 斜面傾斜)
- 58 滝谷美香 2014年2月 カラマツ・トドマツ人工林施業の低コスト化へ向けた植栽、育林方法
北方森林研究 62:3~6 (Kw トドマツ, カラマツ, 収穫予測, 低コスト施業)

- 59 石濱宣夫、八坂通泰、大野泰之、滝谷美香、福地稔、小野寺賢介、安久津久、大崎久司 2014年2月 シラカンバ人工林におけるピスフレックの発生実態—士別市の35年生林分での事例— 北方森林研究 62:69~72 (Kw シラカンバ, 人工林, ピスフレック)
- 60 林産試験場、林業試験場、工業試験場、森林総合研究所、DIC(株)、北海道 2014年3月 人工林材を内装材として活用促進するために! 14pp (Kw カラマツ, トドマツ, シラカンバ, 人工林, 内装材)
- 61 滝谷美香 2014年3月 トドマツ人工林の地位指数曲線の改訂 北林試研報 51:7~11 (Kw トドマツ人工林, 地位指数曲線, リチャーズ関数, 地位指数)

新たな品種開発に向けた林木育種技術の研究と高度化

- 62 Takayoshi Koike, Qiaozhi Mao, Naoki Inada, Korin Kawaguchi, Yasutomo Hoshika, Kazuhito Kita, Makoto Watanabe 2013年6月 Growth and Photosynthetic Responses of Cuttings of a Hybrid Larch (*Larix gmelinii* var. *japonica* x *L. kaempferi*) to Elevated Ozone and/or Carbon Dioxide Asian Journal of Atmospheric Environment 6:104~110 (Kw Tropospheric ozone, High CO₂, Hybrid larch, Tree growth, Photosynthesis)
- 63 渡辺誠、毛巧芝、伊森充一、金容爽、来田和人、小池孝良 2013年7月 異なる樹冠位置と窒素負荷に対するグイマツ雑種F₁幼木の針葉の光合成応答 森林遺伝育種 2:100~103 (Kw 光合成, 養分元素含有量, 窒素利用, LMA)
- 64 Makoto Watanabe, Qiaozhi Mao, Eka Novriyanti, Kazuhito Kita, Kentaro Takagi, Fuyuki Satoh, Takayoshi Koike 2013年11月 Elevated CO₂ enhances the growth of hybrid larch F₁ (*Larix gmelinii* var. *japonica* x *L. kaempferi*) seedlings and changes its biomass allocation Trees 27:1657~1655 (Kw Acclimation to high CO₂ Allometry, Dry matter allocation, Needle characteristics, Photosynthesis, Tree shape)
- 65 小林真、毛巧芝、渡辺誠、来田和人、小池孝良 2013年11月 窒素負荷にたいするグイマツ雑種F₁幼木の生理生態学的応答は立地環境により異なるか? —リンの利用可能量に着目して— 森林遺伝育種 2:149~153 (Kw 光合成, リン, 窒素, 施肥, クロロフィル含有量)
- 66 来田和人、坂上大翼、山口岳広、木村徳志、秋本正信、今博計、山田利博 2014年1月 針葉樹3種の苗木に自然感染した暗色雪腐病菌に対する薬剤防除試験 北海道の林木育種 56(2) 11~12 (Kw エゾマツ, トドマツ, アカエゾマツ, 暗色雪腐病, 農薬適用登録拡大)
- 67 来田和人 2014年1月 炭素固定と材質に優れたグイマツ×カラマツ雑種「クリーンラーチ」 JATAFFジャーナル (Kw 地球温暖化, 中標津5号, 成長, 容積密度数, ヤング係数, 幹通直)
- 68 来田和人 2014年3月 炭素固定能の高い品種の選抜と増殖技術の改善 戦略研究報告書「地球温暖化と生産構造の変化に対応できる北海道農林業の構築」 p22~28 (Kw 材積, 容積密度, 家系, 挿し木, カラマツ, グイマツ雑種F₁)
- 69 Kazuhito Kita, Kazuko Uchiyama, Yasuhiro Ichimura, Yoshinari Moriguchi, Yoshihiko Tsumura, Makoto Kuromaru 2014年3月 Verification of a phenotypic discrimination method for hybrid larch seedlings using DNA markers Journal of Forest Research Published online (Kw DNA marker, Hybridization rate, Larch, Phenotypic discrimination, Seedling)
- 70 来田和人 2014年3月 ポスト・クリーンラーチ時代のグイマツ育種材料 公立林業試験研究機関研究成果選集NO.11:1~2 (Kw 第二世代精英樹, ピロディン, 幹曲り, 樹高, 胸高直径, 育種価)
- 71 黒丸亮、田村明、落合幸仁 2014年1月 エゾマツ種子の簡易選別と発芽率の向上 北海道の林木育種56(2):5~8 (Kw エゾマツ, 種子, エタノール選, 発芽率)
- 72 黒丸亮、河原義明、出口隆 2014年1月 エゾマツの春播きによる暗色雪腐病被害の回避効果に関する実証試験 北海道の林木育種56(2):9~10 (Kw エゾマツ, 暗色雪腐病, 春播き)

森林バイオマスの成分・エネルギー利用技術の研究と開発

- 73 酒井明香 2014年3月 森林バイオマスのエネルギー収支を考える 光珠内季報 第171号6~9 (Kw 林地残材, 森林バイオマス)

注1 雑誌名等の省略

北林試研報:北海道林業試験場研究報告

注2 *は公表されていないもの

2 学会における口頭・ポスター発表

森林の多面的機能の発揮のための研究開発

地球環境及び国土を保全する森林管理技術の研究と開発

- 74 菅野正人 2014年3月 IKONOSステレオペア画像から作成したDSMによる人工林の樹高計測の試み 日本リモートセンシング学会第55回（平成25年度秋季）学術講演会（Kw IKONOS, 衛星画像, DSM, DTM, DEM）
- 75 菅野正人、津田高明、小玉哲大、中根貴雄 2014年3月 光珠内実験林におけるUAV撮影と森林管理への活用の検討 日本写真測量学会北海道支部学術講演会（Kw UAV, 無人航空機, 人工林, 光珠内実験林）
- 76 菅野正人、津田高明、小玉哲大、中根貴雄 2014年3月 無人航空機(UAV)によるカラマツ人工林の現況把握の試み 日本森林学会（Kw UAV, 無人航空機, 人工林, 光珠内実験林）
- 77 山田健四、寺澤和彦、阪田匡司、石塚成宏 2014年3月 湿地林における地表面メタンフラックスに林床植生と地下水位変動が与える影響 第125回日本森林学会大会（Kw メタンフラックス, ヨシ, オニシモツケ, 地下水位, 湿地林）
- 78 寺澤和彦、山田健四、阪田匡司、石塚成宏 2014年3月 湿地林におけるヤチダモ樹幹からのメタン放出量の季節的変動 第125回日本森林学会大会（Kw メタンフラックス, ヤチダモ樹幹, 地下水位, 地温, 地下水溶存メタン）
- 79 山本福壽、沖田総一郎、半澤綾菜、阪田匡司、石塚成宏、山田健四、寺澤和彦 2014年3月 湿地林におけるヤチダモの根系および樹皮の組織構造 第125回日本森林学会大会（Kw メタンフラックス, 樹皮, 通気組織, 解剖学的観察, 放出経路）
- 80 佐藤冬樹、福澤加里部、笹賀一郎、間宮春大、長坂晶子、長坂有、逢山康宏、杉本記史 2014年3月 カンラン岩地帯の森林が流域および沿岸域への溶存物質フローにおよぼす影響 第125回日本森林学会大会（Kw カンラン岩, 流域, 溶存物質）

道民の生活環境を守る森林管理技術の研究と開発

- 81 鳥田宏行 2013年4月 立木の材質を測る～非破壊ヤング係数測定装置の開発～ 平成25年 北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）（Kw 木材強度, ヤング係数, 立木, 非破壊）
- 82 真坂一彦 2013年4月 森ーミツバチー食のつながり 蜜源林造成のすすめ 平成25年北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）（Kw 蜜源林, 養蜂, 森, ミツバチ, 食のつながり）
- 83 真坂一彦、佐藤孝弘、棚橋生子 2013年4月 養蜂業による樹木蜜源の利用実態 平成25年 北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）（Kw 蜜源林, 養蜂, 森, ミツバチ, 食のつながり）
- 84 岩崎健太、鳥田宏行、真坂一彦、阿部友幸、和田英雄 2013年11月 防風林帯風下における飼料作物収量および微気象環境の水平分布 第62回北方森林学会大会（Kw 防風林, 飼料作物, 作物収量）
- 85 佐藤創、野口宏典、鳥田宏行、真坂一彦、岩崎健太、阿部友幸 2014年3月 予測津波に対する海岸防災林による減衰効果の数値シミュレーションー北海道白糠町の例 第125回日本森林学会大会（Kw 東北地方太平洋沖地震津波, L2, 北海道太平洋岸, 非線形長波方程式）
- 86 岩崎健太、佐藤創、真坂一彦、鳥田宏行、阿部友幸、山川陽祐、小杉賢一郎 2014年3月 海岸林不成績要因推定への土壌水分計付貫入計の適用 第125回日本森林学会大会（Kw 海岸林, 土壌水分, 過湿, 不成績林分）

森林とのふれあいや道民の森林づくり活動を支援する研究と技術開発

- 87 佐藤孝弘 2013年4月 利用者ニーズを踏まえた森林公園の運営・管理 平成25年 北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）（Kw 利用者ニーズ, 森林公園）

森林の生物多様性保全と健全性維持のための研究開発

生物多様性を確保する森林管理技術の研究と開発

- 88 山本厚志、明石信廣 2013年4月 森林内におけるエゾシカの効率的捕獲と有効活用の実践 ～道有林エゾシカ捕獲体制構築モデル事業の試みについて～ 平成25年 北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）（Kw エゾシカ, モバイルカリング, 道有林）
- 89 雲野明、明石信廣、長坂有 2013年4月 生物多様性保全や水土保全機能と木材生産は両立できるか？ ～トドマツ人工林における保残伐実験による検証～ 平成25年 北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）（Kw 保残伐実験, トドマツ人工林）

- 90 雲野明、明石信廣、長坂有 2013年4月 生物多様性保全や水土保全機能と効率的な木材生産は両立できるか？(その2)平成25年 北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)(Kw 木材生産, 生物多様性, 水土保全機能)
- 91 阿部友幸、南野一博、佐藤創、寺田文子 2013年4月 北海道産のブナ種子を集めています 平成25年 北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)(Kw ブナ種子採取の体制整備, 種子源コントロールの実現)
- 92 吉田剛司、中谷曜子、植月智子、日野貴文、伊吾田宏正、上野真由美、稲富佳洋、明石信廣、宇野裕之 2013年5月 森林管理と連携した野生動物管理 第9回 GISコミュニティフォーラム 森林GISセッション(Kw エゾシカ, GIS, 捕獲適地, 運搬可能範囲)
- 93 平川浩文、長坂有 2013年9月 2013年春に探して発見された, 残雪上のコテングコウモリ *Murina ussuriensis* 10例の経過観察 日本哺乳類学会2013年大会(Kw コテングコウモリ, 冬眠, 残雪, 経過, 体表面温度)
- 94 小野司、伊吾田宏正、日野貴文、宇野裕之、明石信廣、吉田剛司 2013年10月 狙撃適地の抽出に向けた狩猟者の経験知の定量的な評価手法 第46回森林野生動物研究会大会(Kw エゾシカ, GIS, 捕獲適地)
- 95 阿部友幸、寺田文子、小山浩正 2013年11月 乾燥冷凍貯蔵したブナ堅果の発芽率の地域変異 第62回北方森林学会大会(Kw ブナ, 堅果, 地理変異, 発芽率, 葉緑体DNA)
- 96 長坂晶子、長坂有、山田健四 2013年11月 源流域の溪床における貯留有機物と底生動物相の特徴 第62回北方森林学会大会(Kw 源流域, トドマツ人工林, 底生動物群集)
- 97 福井喬史、宮本敏澄、長坂有、長坂晶子、玉井裕、矢島崇 2013年11月 サケ死骸の林床設置後に出現するアンモニア菌の経時的変化 第62回北方森林学会大会(Kw サケ死骸, 尿素散布, アンモニア菌, 子実体, 経時的変化)
- 98 阿部友幸、寺田文子、小山浩正 2014年3月 乾燥冷凍貯蔵したブナ堅果の発芽率の地理変異 第125回日本森林学会大会(Kw ブナ, 堅果, 地理変異, 発芽率, 葉緑体DNA)
- 99 長坂晶子、長坂有、山田健四 2014年3月 北海道中央部のトドマツ人工林とその周辺森林の源流域における底生動物群集の特徴と環境要因の関係 第61回日本生態学会大会(Kw 源流域, トドマツ人工林, 底生動物群集)
- 100 長坂晶子、長坂有、三島啓雄、石川靖 2014年3月 森林小流域の水質特性を類型化する試み—林相・地形に着目して— 第125回日本森林学会大会(Kw 森林小流域, 硝酸態窒素, 溶存有機態炭素, 林相, 地形)
- 101 長坂有、長坂晶子 2014年3月 サケ死体跡に発生したキノコ(アンモニア菌)による菌食性昆虫への波及効果 第61回日本生態学会大会(Kw サケ死体, キノコ, アンモニア菌, 菌食性昆虫, シデムシ)
- 102 明石信廣、新田紀敏、雲野明、対馬俊之、大野泰之 2014年3月 高齢トドマツ人工林における下層植生の多様性 第125回日本森林学会大会(Kw トドマツ人工林, 非計量多次元尺度法, 正準対応分析)
- 103 小野寺賢介、徳田佐和子 2014年3月 トドマツ立枯れ木を利用する甲虫の生息地選択, 腐朽度と垂直的位置 第125回日本森林学会大会(Kw 枯死木, 甲虫, 垂直的位置, トドマツ)
- 104 寺田文子、八坂通泰、菅野正人 2013年11月 道南地域におけるブナ豊凶の24年間の変動 —1990年~2013年— 第61回北方森林学会大会(Kw シードトラップ, モニタリング調査)

森林・樹木の健全性を維持するための研究と技術開発

- 105 小南雅誉、明石信廣 2013年4月 林地未利用材等を活用したエゾシカ侵入防止対策の検討 平成25年 北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)(Kw エゾシカ, 林地未利用材, 高密度林分)
- 106 大野泰之 2013年5月 広葉樹資源の現状や拡大造林, ウダイカンバ大径材生産について. 日本木材学会北海道支部 (Kw 広葉樹, 施業)
- 107 中田圭亮、明石信廣 2013年9月 エゾヤチネズミ個体群の変動規模は減衰しているか: 減衰例と拡大例の混在 第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会(Kw エゾヤチネズミ, 個体数変化, コレログラム, 発生予察)
- 108 中田圭亮、明石信廣 2014年1月 エゾヤチネズミの個体数変化にみられるトレンド 2013年度日本応用動物昆虫学会・日本昆虫学会共催北海道支部大会 (Kw 発生予察, エゾヤチネズミ, 個体数変化)
- 109 徳田佐和子、小野寺賢介、滝谷美香、八坂通泰、対馬俊之 2014年3月 北海道のトドマツ人工林における根株腐朽の発生状況とその要因 第125回日本森林学会大会(Kw トドマツ人工林, 根株腐朽被害, 伐根調査, 一般化線形混合モデル)

身近なみどり環境の充実のための研究開発

北海道の風土に適した緑化樹等の新品種や生産技術の研究と開発

- 110 脇田陽一 2013年4月 樹木の組織培養に関する28年間の取組と今後の可能性 平成25年北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）(Kw 組織培養, 大量増殖技術)

林業の持続的な発展のための研究開発

森林資源の充実を図る育林技術の研究と開発

- 111 中川昌彦 2013年11月 カラマツの天然更新地は、なぜ広葉樹林化するのか 第62回北方森林学会大会 (Kw カラマツ, 天然更新, 成林, 広葉樹林化, エゾヤチネズミ)
- 112 中川昌彦 2014年1月 カラマツの天然更新施業を成功させるためには? 平成25年度北の国・森づくり技術交流発表会 (Kw カラマツ, 天然更新, 成林, 広葉樹林化, エゾヤチネズミ)
- 113 滝谷美香、八坂通泰 2014年3月 多点データによる北海道トドマツ人工林の個体成長量の推定 第125回日本森林学会大会 (Kw トドマツ, 多点データ, 個体生長量, 北海道)
- 114 八坂通泰、松本和茂 2014年3月 カラマツ人工林における間伐と丸太の材質との関係 第125回日本森林学会大会 (Kw カラマツ, 間伐, 丸太, 強度, 回帰木分析)

森林施業の低コスト化と森林資源の高度利用を図る技術の研究と開発

- 115 津田高明 2013年4月 北海道の人工林における持続可能な出材量は? 平成25年 北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）(Kw 人工林, 持続可能, 出材可能量)
- 116 林産試験場、林業試験場、工業試験場、森林総合研究所、DIC（株）、北海道 2013年10月 北海道の人工林材を内装材料として活用促進するために! ジャパンホームショー (Kw カラマツ, トドマツ, シラカンバ, 人工林, 内装材)
- 117 滝谷美香、八坂通泰 2013年11月 カラマツ, トドマツ人工林施業の低コスト化へ向けた植栽, 育林方法 第62回北方森林学会大会シンポジウム (Kw 低コスト施業, トドマツ, カラマツ, 収穫予測)
- 118 石濱宣夫、八坂通泰、大野泰之、滝谷美香、福地 稔、小野寺賢介、安久津 久、大崎久司 2013年11月 シラカンバ人工林におけるピスフレックの発生実態—士別市の35年生林分での事例— 第62回北方森林学会大会 (Kw シラカンバ, 人工林, ピスフレック)

新たな品種開発に向けた林木育種技術の研究と高度化

- 119 来田和人、今博計 2013年4月 ポストクリーンラーチ時代におけるグイマツ雑種F1の育種戦略 平成25年北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）(Kw ポストクリーンラーチ)
- 120 来田和人、今博計、黒丸亮 2014年3月 播種による1年生カラマツコンテナ苗木生産方法の開発 第125回日本森林学会大会 (Kw 播種時期, コンテナ苗木, カラマツ, 施肥, 根系)
- 121 黒丸亮、出口隆、河原義明 2014年3月 エゾマツの春播きによる暗色雪腐病被害の回避効果 第125回日本森林学会大会 (Kw エゾマツ, 暗色雪腐病, 春播き, 発芽率)
- 122 原山尚徳、大野泰之、来田和人、上村章、韓慶民、宇都木玄 2014年3月 グイマツ雑種F1とカラマツ成木における光合成特性の空間パターン 第61回日本生態学会大会 (Kw クリーンラーチ, 最大カルボキシル化, 最大電子伝達速度, 気孔コンダクタンス, 光合成窒素利用効率, 樹高階)

森林バイオマスの総合利用の推進のための研究開発

森林バイオマスの成分・エネルギー利用技術の研究と開発

- 123 酒井明香、寺田文子 2013年4月 北海道で森林バイオマスはどれくらい集まるの? 平成25年 北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）(Kw 森林バイオマス, 林地残材, 二酸化炭素削減)
- 124 酒井明香 2013年4月 北海道で森林バイオマスはどれくらい集まるの? (その2) 平成25年 北海道森づくり研究成果発表会（森林整備部門）(Kw 森林バイオマス, エネルギー収支比, 限界運搬距離)